

不登校・行きしぶりの子どもたちが、安心して過ごし、自分のペースを取り戻せる居場所として「ひとやすみ」を運営しています。自然の中での体験を通して、心と身体をゆるめ、人との関わりを少しずつ育むことを大切にしています。

春は草木染め、夏は川遊び、秋はピザづくり、冬は自然物リースづくりなど、季節に応じた野外活動を中心に実施しています。



ママたちのこもれびじかんMAMAnoMA

月に一度の保護者のための居場所支援「MAMAnoMA」がスタートしました。子どもの不登校や子育てについて、安心して話せる場として実施しています。情報交換だけでなく、自分らしさを取り戻し、ほっとひと息つける時間を大切にしています。12月は「ママをやめてもいいですか!？」の映画上映会を開催しました。



課題と今後の展望

① 立地・アクセス面の課題と今後の展望

活動場所である神戸三田アウトドアビレッジTEMILは、自然豊かで落ち着いた環境に恵まれており、不登校の子どもたちにとって安心して過ごしやすい場となっています。一方で、最寄り駅から車で約15分と公共交通機関でのアクセスが難しく、送迎が必要となる家庭も多い状況です。

今後は、地域住民や関係団体との連携を深め、送迎ボランティアの協力や移動支援の仕組みづくりを検討していきます。地域の力を借りながら、立地の課題を補完し、より多くの家庭が安心して参加できる環境づくりを目指していきます。

② 資金面の課題と今後の展望

「ひとやすみ」では、経済的な事情に関わらず参加できる居場所であることを大切に、参加費をできる限り抑えた料金設定としています。そのため、日々の活動費や運営費の確保が課題となっています。

今後は、地域企業や団体との協賛・連携、寄付による支援体制の構築を進めていきます。地域と継続的につながることで、安定した運営基盤を整え、活動の質を高めながら、子どもたちと保護者を長期的に支える居場所づくりを目指していきます。